

日本環境安全事業株式会社平成17年度環境物品等の調達実績の概要

日本環境安全事業株式会社

1. 平成17年度の経緯

平成17年度については、以下のとおり環境物品等の調達の推進を図るための方針（調達方針）の策定等を行い、これに基づいて環境物品等の調達を推進した。

平成17年6月21日 環境物品等の調達の推進を図るための方針を策定・公表

平成18年4月27日 日本環境安全事業株式会社北九州事業所その他計5ヶ所の事業所に取りまとめを指示

2. 特定調達品目の調達状況

各特定調達品目の調達量等については、物品等の調達については別表1、公共工事については別表2のとおりである。

①目標達成状況等

調達方針において、調達総量に対する基準を満足する物品等の調達量の割合により111品目について目標設定。これらの目標達成状況は以下のとおり。

- イ 65品目については、目標値を達成した。
- ロ 37品目については、調達を行わなかった。
- ハ 9品目については、目標値を下回る結果となった。

②判断の基準を満足しない物品等

（文具類）

○品目 ボールペン

○判断の基準を満足する物品等が調達できなかった理由

緊急に調達した際、判断の基準を満足する製品を入手できなかった。

○品目 両面粘着紙テープ

○判断の基準を満足する物品等が調達できなかった理由

緊急に調達した際、判断の基準を満足する製品を入手できなかった。

○品目 ブックスタンド

○判断の基準を満足する物品等が調達できなかった理由

緊急に調達した際、判断の基準を満足する製品を入手できなかった。

○品目 デスクマット

○判断の基準を満足する物品等が調達できなかった理由

緊急に調達した際、判断の基準を満足する製品を入手できなかった。

○品目 付箋フィルム

○判断の基準を満足する物品等が調達できなかった理由

緊急に調達した際、判断の基準を満足する製品を入手できなかった。

○品目 名札（衣服取付型・首下げ型）

○判断の基準を満足する物品等が調達できなかった理由

緊急に調達した際、判断の基準を満足する製品を入手できなかった。

(機器類)

○品目 いす

○判断の基準を満足する物品等が調達できなかった理由

購入時、判断の基準に示す「木質の場合にあっては、間伐材等の木材が使用されており、材料からのホルムアルデヒドの放散速度が、 $0.02\text{mg}/\text{m}^3\text{h}$ 以下又はこれと同等のものであること」に該当する製品が入手できなかった。

○品目 ローパーテーション

○判断の基準を満足する物品等が調達できなかった理由

購入時、業務上必要な条件（防音であること）を満たしかつ判断の基準に示す「紙の場合にあっては、紙の原料は古紙パルプ配合率50%以上であること」に該当する製品を入手できなかった。

(制服・作業服)

○品目 作業服

○判断の基準を満足する物品等が調達できなかった理由

PCB廃棄物処理施設等での作業における安全面の必要性から、作業服に関しては帯電防止かつ防炎性を備えた素材の製品を調達することとしたが、これらについて判断の基準を満足するものが存在しなかった。

(作業手袋)

○品目 作業手袋

○判断の基準を満足する物品等が調達できなかった理由

PCB廃棄物処理施設等での作業における安全面の機能を満たしかつ判断の基準を満足するものが存在しなかった。

(役務)

○品目 印刷

○判断の基準を満足する物品等が調達できなかった理由

緊急で調達した際に古紙100%の用紙を使用できなかった。

③判断の基準より高い基準を満足する物品等の調達状況

(文具類)

○品目 事務用封筒、窓付き封筒

○判断の基準より高い基準を満足する物品の調達内容

判断の基準に示す「紙の場合にあっては、紙の原料は古紙配合率40%以上であること」に対して、古紙配合率100%の製品を調達した。

○品目 ノート

○判断の基準より高い基準を満足する物品の調達内容

ノートにかかる判断の基準に示す「古紙配合率70%以上であること」に対して、古紙配合率100%の製品を調達した。

3. 特定調達物品等以外の環境物品等の調達状況

他の環境物品の選択に当たっては、エコマークの認定を受けている製品又はこれと同等のものを調達するよう努めた。

4. その他の物品、役務の調達に当たっての環境配慮の実績

日本環境安全事業株式会社にグリーン調達推進本部を設けており、調達方針は本部、北海道事業所、東京事業所、豊田事業所、大阪事業所及び北九州事業所を対象とした。

また、物品等を納入する事業者、役務の提供事業者、公共工事の請負事業者に対して、事業者自身がグリーン購入を推進するように働きかけるとともに、納入の際の包装も簡易なものとするよう働きかけた。

5. 平成17年度調達実績に関する評価

平成17年度の調達の状況等は上記のとおりであり、調達74品目中65品目（87.8%）において調達目標を達成（16年度は84品目中76品目で目標値達成（90.4%））した。目標値達成率が下がってしまった原因としては、機器類などについて業務上必要な条件を満たしかつ基準を満たしているものがない場合があったこと、調達にあたってグリーン購入の周知が徹底されていなかったことがあげられる。

今後はグリーン調達の周知徹底を更に推進し、又調達先業者等のEMS（ISO等）の取得状況を把握するよう努めるとともにその推進にも寄与できるようはかりたい。